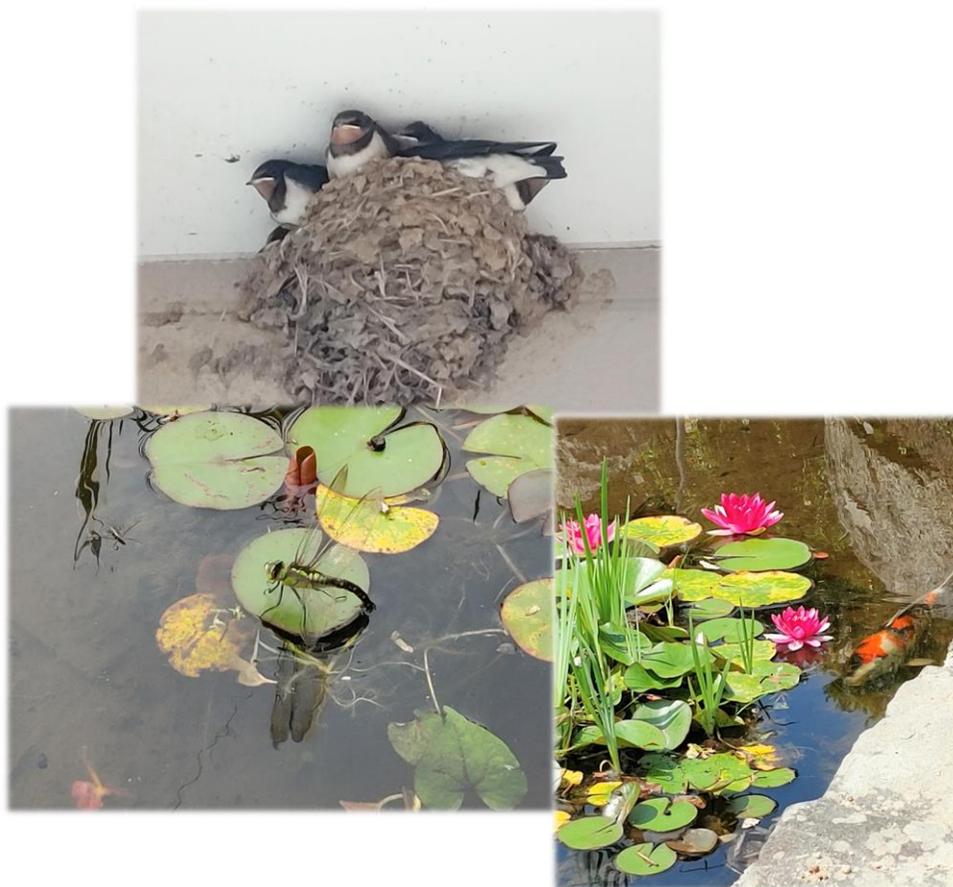


NPO やすらぎの郷 いいの

安心して住み続けられるまちをつくりたい！



小さな仲間たち

飯野の小さな生き物たちー

放射能被害に続き温暖化の影響で、わたし達のまわりの生き物も変化しています。アゲハチョウは今年も我が家の庭を訪れてくれるでしょうか？

SDGs：持続可能な社会を・・・

みんなの広場



消防団活動、民生委員として

私は、現在古希を過ぎて、民生児童委員として活動させて頂いております。以前は会社に勤務しながら消防団員として地域の安全安心のため30年以上お世話になりました。活動の中では、火災や災害に出動し被害を最小限に食い止めることに協力してまいりました。そのためには一致団結して災害に対応することが求められます。日頃より団員との交流や地域の人との交流が大切なことだと思いました。

飯野町は福島市と合併し、福島市消防団となり環境や体制も変わりました。その後にあの東日本大震災が発生し、原発事故が起こり、毎日出動したことが思い出されます。近年はいつ大災害が発生するかわかりません。そういった時の対応について、関係機関や地域の皆様とも話し合っておくことが大事だと思います。

退団後は民生児童委員として皆さんのご協力を頂きながら、活動に励ん



んでいます。消防団活動とは少し違う所はありますが、地域の安全安心という意味では変わりません。高齢者などの安否確認を兼ねた訪問するといろんな悩みの相談を受けることがあります。関係機関へのパイプ役の仕事だと思っています。この歳になっても知らないことが多く、毎日が勉強ですが頑張っています。

今は、先の見えないコロナ感染対策の中で、行事や会合などが自粛を余儀なくされて家に閉じこもる機会が多くなり、体調を崩しがちです。体には十分に気を付けられますようお願いしています。

<有償ボランティア 朝倉 一則>



生活支援ボランティア
ホームヘルパー募集中

令和3年度 通常総会 5/26（書面表決） 報告

理事長 伊藤 敏寛

令和3年度の通常総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、昨年に引き続き書面表決による開催といたしました。ご理解の程、お願い申し上げます。

書面表決の結果は、以下の通りです。

正会員数 30 名 書面表決者 26 名。

すべての議案において全員賛成となり承認されました。

議案は第1号～5号で、内容は令和2年度事業報告、事業活動決算報告及び監査報告、令和3年度事業計画案、事業活動予算案、役員改選です。

選任された役員（令和3年8月～2年間）は以下の方々です。

<理事>

伊藤敏寛、高槻秀夫、熊田吉弘、齋藤憲芳、菅野三三子、宇佐見芳子、齋藤典子（全て再任）

<監事>

高野孝夫、加藤仁美（全て再任）

書面でのご意見（一部）

・安心して地元で生活できる体制づくりに、私達も参加していきたいと思えます。在宅介護につきましては、介護の経験から必要性を十分に感じています。

・高齢化率そして人口減少率も高いこの地域での活動ということで、職員や関係者の方のご苦勞があると思えます。また、コロナ禍にあって感染対策を講じながらのこの間の活動だったと思えます。住み慣れた地域で、安心して生涯を過ごせるような支援、これは地域の宝です。



ヘルパー等に対するワクチンの接種に関して市へ要望

自宅を訪問するヘルパーやケアマネジャーのワクチン接種は、医療従事者や高齢者施設職員のいわゆる‘優先枠’に入っていませんでした。面会制限など感染防止対策が取りやすい病院・施設よりも、感染のリスク、そして媒体となるリスクが高いと考えられるので、福島市に‘優先接種’を要望しました。市では、今後優先的に接種することとなりました。引き続き、利用者さんへの感染予防に努めてまいります。

<安心して住み続けられるまち リレートーク その12



構想し手作り「明治遊楽園」

先祖代々の山を40年前に草地にし、その後、土の採掘をしたところ、大きな個岩がたくさん出てきた。その岩場や傾斜のある複雑な地形を利用し、コースを走行するオートバイのトライアル競技が行われるようになった。

また、その景観を生かして、桜やレンギョウなどの花木を植えて、自力で公園づくりを始めた。本格的には3年前から。

パワフルな公園づくりへの思いを齋藤さんにお聞きしました。

モットー 「今の与えられた立場・条件で最善を尽くし努力をする」

● 秘訣 お金をかけず、助成金ももらわない。家や庭を解体する人がいると聞くと、木材や石垣、じゃり



、サッシ、草花や花木等をもらってきて材料にしている。その材料で何ができるのか考える。いろんなところを観察しながら歩く、そしてアイデアや技術を盗む。重機はないので、農業で使っているトラクターを活用するなど、いまあるものを最大限活用する。

今後の思い

「次々と構想があるので死ねない」
● 朝起きてから寝るまで構想を考えていることが楽しい。これからも続けていきたい。

<明治 齋藤 忠一>



NPO やすらぎの郷いの

福島市飯野町字前川16

TEL 024-563-4804

ホームページ <http://yasuraginosatoiino.jp/>

一言

“しらさぎ”を田んぼで見かけた。種類によって、九州など南に渡る渡り鳥だったり、一年中いる留鳥だったりのようだ。温暖化すると南に渡ることはなくなるのか。

(K)